

SUNSTAR

日本標準商品分類番号

872790

フッ化物洗口剤

# バターF洗口液0.1%

Butler F Mouthrinse 0.1%

薬価基準対象外



計量カップ  
付き



[250mL]

齲蝕予防に  
液体のフッ化物洗口剤

# BUTLER ®



# 家庭や学校でのフッ化物洗口に。溶かす

## 特徴

患者さまの毎日のフッ化物洗口にお使いいただけます。

添付の計量カップを使って希釈できるので  
患者さまの年齢・口腔状態に合わせて処方できます。

(フッ化物イオン濃度450ppm〔原液〕)

(フッ化物イオン濃度230～450ppm〔希釈時〕)

液体製剤ですので、溶かす手間がありません。

薬液は薄いブルーの色で洋なし味です。

1本で25回お使いいただけます。

(1回10mLで薄めずに使用した場合)

室温で保存できます。





# 手間のない液体のフッ化物洗口剤。

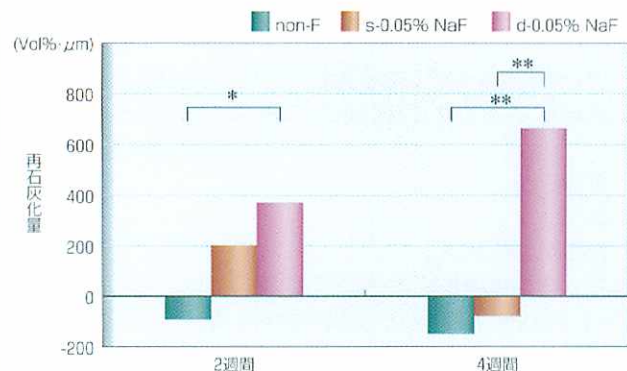
## フッ化物洗口の効果とわが国における普及

継続的なフッ化物洗口によるう蝕の予防効果は*in vitro*の試験や臨床評価により示されており、わが国においても年々実施人口は増加しています。

### ■再石灰化促進作用について

#### ◎pHサイクリング試験(*in vitro*)

ウシ抜去菌(ウシエナメル質)を用いた試験において、フッ化ナトリウム無処理群及び0.05%フッ化ナトリウム単回処理群は試験4週間後には脱灰の進行が見られたのに対し、0.05%フッ化ナトリウムを連日継続的に処理した群では顕著に再石灰化が促進されました。



non-F: フッ化ナトリウム無処理群 s-0.05%NaF: 0.05%フッ化ナトリウム単回処理群  
d-0.05%NaF: 0.05%フッ化ナトリウム連日処理群

\*:  $p < 0.05$ , \*\*:  $p < 0.01$  (多重比較<Tukey's test, SPSS ver9.0J)

出典: サンスター社内資料

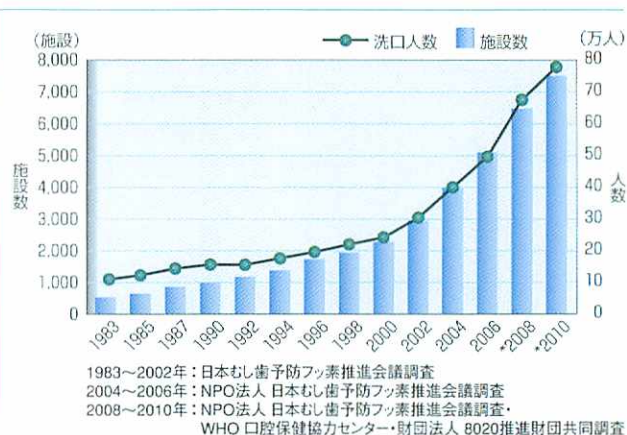
### ■フッ化物洗口の臨床成績

2年間に亘って0.1%フッ化ナトリウム水溶液5mLで毎日1回学校給食の後に洗口させたところ、洗口を実施しなかった群と比較して一人平均DMFT\*が約60%抑制されました。

\*DMFT: 永久歯のう蝕経験歯数

<参考文献> 笠倉てる子: 学校給食に関する歯学的考察, 第3編, 学校給食時におけるフッ化ナトリウム溶液の洗口による齲蝕予防効果について, 歯学, 54(1); 22-32, 1966.

### ■わが国における施設でのフッ化物洗口実施状況



1983~2002年: 日本むし歯予防フッ素推進会議調査  
2004~2006年: NPO法人 日本むし歯予防フッ素推進会議調査  
2008~2010年: NPO法人 日本むし歯予防フッ素推進会議調査・WHO 口腔保健協力センター・財団法人 8020推進財団共同調査

## 使用方法

使用量及び希釈方法については患者さまの年齢・口腔状態に合わせてご調整ください。

洗口の際は  
添付の計量カップを  
使用します。



#### ご使用例 1

##### 原液 10mL で使用の場合

薬剤を「10」の線(約10mL)まで入れて洗口します。



#### ご使用例 2

##### 2倍にうすめて 10mL で使用の場合

薬剤を計量カップの下側の線(約5mL)まで入れます。

水を「10」の線まで加えて希釈し、洗口します。



### 洗口方法

1

洗口前に、歯を磨くか、水で口をすすぐ。

2

準備した洗口液を口を含み、約30秒間薬液が歯面に行き渡るように含み洗いをします。  
※飲み込まないよう、ご指導ください。

3

薬液を十分に吐き出す。吐出後は水ですすがず、口腔内に溜まった唾液を1~2回吐き出す。  
※1日1回食後または就寝前の使用をご指導ください。



「使用上の注意」の改訂に十分ご注意ください。

日本標準商品分類番号		872790
薬効分類名		フッ化物洗口剤
商品名	和名	バトラーF洗口液0.1%
	洋名	Butler F Mouthrinse 0.1%
薬価基準収載の有無		薬価基準対象外
組成・性状	組成 (1mL中)	有効成分 フッ化ナトリウム……………1.0mg 添加物 還元パラチノース、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、無水クエン酸、クエン酸ナトリウム、塩化セチルピリジニウム、パラオキシ安息香酸メチル、プロピレングリコール、濃グリセリン、緑色201号、香料
	性状	淡青色澄明の液で、芳香と甘味を有する。
効能又は効果		齲蝕の予防
用法及び用量		通常、1回フッ化ナトリウムとして0.05～0.1%溶液5～10mLを用い、1日1回食後または就寝前に次の方法により洗口する。 [洗口方法] 薬液を口を含み、約30秒間薬液が十分歯面にゆきわたるように含み洗いさせる。次に薬液を十分に吐き出させる。 1回に口を含む液量は、年齢等による口腔の大きさを考慮して定めるが、通常未就学児で5mL、学童以上で7～10mLが適当である。
使用上の注意		1.副作用 本品は、使用成績調査等の副作用の発現頻度が明確となる調査を実施していない。 過敏症(頻度不明):過敏症状があらわれた場合には、ただちに洗口を中止すること。 2.適用上の注意 1) 齲蝕の予防(洗口)にのみ使用すること。 2) 飲み込まないように、よく指導すること。 3) 飲み込むおそれのある幼児には使用しないこと。 4) 誤って飲用し、嘔吐、腹痛、下痢などの急性中毒症状を起こした場合には、牛乳、グルコン酸カルシウムなどのカルシウム剤を応急的に服用させ、医師の診療を受けさせること。 5) 歯科医師の指導により使用すること。
取扱い上の注意	貯法	室温保存
	使用期限	3年(ボトル及び外箱に記載)
	注意	●容器及び使用する器具は必ずプラスチック製を使用し、ガラス製品は使用しないこと。 ●希釈して使用する場合は、その都度希釈し、作り置きしないこと。 ●使用後は密栓し、幼小児の手の届かない所に保管すること。
包装		250mL(プラスチック製瓶)×6本
承認番号		21700AMZ00799000
承認年月		2005年12月
販売開始		2006年1月

詳細については添付文書をご参照ください。

製造販売元

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号

[資料請求先]

医薬品インフォメーションセンター TEL 072-682-4815